

わが国において在宅血液透析は、1968年に開始され、1998年には保険診療に収載された。その後患者数は徐々に増加し、2017年末には684名となったが、全透析患者の0.2%にすぎない。在宅血液透析は、患者のQOLを高め、生命予後の向上が期待される療法である。しかしながら、患者の自立と自己責任に基づく療法でもある。在宅血液透析の推進には、まだ多くの課題がある。

本特集では、現在、在宅血液透析に積極的に取り組んでいる施設の先生方に、いかに円滑に導入するか、そのノウハウを執筆いただいた。課題としては、自己責任の問題、介助者の問題、導入に当たってのインフラの問題、水質管理・機器の保

守点検、施行に当たっての安全管理、バスキュラアクセス、患者管理システムの活用、栄養管理、離脱の現況、医療経済の面からの位置付けなどがあり、それぞれの課題に対して、在宅血液透析の推進のためのノウハウを執筆いただいた。また、在宅血液透析を施行された、および施行されている患者の方に、その評価および日常生活の広がり可能性、離島での自給生活などについても執筆いただいた。

今回の企画が在宅血液透析の普及に少しでも役に立つことを願っている。

(原田 孝司)

2019年(Vol. 35)特集のご案内

- No.① 透析患者の糖尿病管理の新展開
- No.② 透析患者における電解質・酸塩基平衡異常—透析液を含めて
- No.③ 慢性腎臓病の看護実践をリフレクションする
- No.④ 透析患者の残腎機能
- No.⑤ 透析工医学の最前線
- No.⑥ AKI診療のエビデンスと課題
- No.⑦ CKD患者におけるがん化学療法—透析患者を中心に〔増刊号〕

- No.⑧ 既存のガイドラインを透析患者にどう活用するか
- No.⑨ 標準血液透析を再考する—最良の透析処方・管理技術とは
- No.⑩ 在宅血液透析の勧め—円滑導入のためのノウハウ
- No.11 その人らしい生活を支える透析看護
- No.12 透析患者の支持療法

(既刊は○)

臨牀透析® Vol.35 No.10

© 2019年9月10日発行
定価：(本体 2,600円＋税)

年間予約購読は前金にて弊社あるいは書店宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、弊社または書店までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <http://www.nmckk.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2019, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ JCOPY<出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎ 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■広告申込所/株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話(03)3814-8541